とうきょう すくわくプログラム活動報告書

つぼみぐみ（０歳児）

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

自然遊び（虫）

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など） 虫などの自然に興味を持っていた為、さらに興味を広げていけるようにしたいと思った。

２．活動スケジュール

①散歩時にチョウチョやダンゴムシ、アリを捕まえて白い箱や虫カゴに入れて観察出来るようにする。 ②見た虫を思い出して指差しをしたりと、興味が持てるようにしていく。 ③虫の折り紙を天井からつるして飾り、より興味が持てるような環境設定を行っていく。 ④布のタペストリーをめくると、カブトムシ、クワガタ、アリ、テントウムシなどのワッペンやパッチワークが出てくるようにし、遊びの中でさらに興味や指差し、発語を引き出していく。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具） ・虫を入れる虫カゴ。虫を観察しやすくするための白い箱 ・虫の写真(壁に貼る写真、画用紙に写真を貼った物) ・折り紙　・スズランテープ ・布・ワッペン・フェルト

４.探究活動の実践

＜活動の内容＞

・チョウチョ、ダンゴムシ、アリなどの虫への興味から、指差しで伝えたり、発語に繋げていく。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中に見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・虫がどこにいるか気がつかなかった子どもも、白い箱や虫カゴに入れて間近で観察できるようにすると、手を伸ばして今日っ美緒を示すようになってきた。

・虫を見つけると「あ！」と言いながら指を差したり「ちょうちょ」などと虫の名称を言うようになる。

・室内では虫の写真を見せたり、壁に虫の写真を貼るとすぐに近くに来て指差しをしている。

・折り紙でセミ、チョウチョ、テントウムシなどの虫の形を作って天井からぶら下げると手を伸ばしたり、指差しをして見ている。

・布のタペストリーをめくって虫やきのこが出てくると「わー」と声を上げて喜んでいる。まためくる事で発見したり、驚きを感じながら楽しむ様子が見られる。

5.振り返り

・虫を白い箱に入れて見せる事で虫に自分から気づいて観察したり、手を伸ばして触れようとする子どもがいた。

・実際に近くで観察したり、保育室の壁に写真を貼る事で指差しや発語に繋がった。

・室内に折り紙でテントウムシやチョウチョウ、トンボを作って装飾にする事で身近に虫を感じられるようになり、手を伸ばしたり壁面の写真と見比べるなど興味を持ってきている。

・布のタペストリーをめくる事で虫のワッペンやパッチワークを指差して自分でめくる楽しさを感じながら虫への興味を広げている。

・散歩時にもっと虫を捕まえたかったが、すぐに暑い日が続くようになったため実際に虫を見せる機会が少なくなってしまった。様々な季節の中で戸外に出掛けて虫を近くで見たり触れる機会を引き続き作っていきたい。

・虫の写真や折り紙、タペストリーなど様々な素材に触れて遊びを通して楽しめるようにする事で虫への興味を引き出す事ができたと思う。特に布のタペストリーは自分でめくると虫が出てくる事でより楽しさや興味を引き出す事ができた。